

相模原市立 公文書館だより 第10号 令和元年11月

現在開催中の企画展をご案内します!

テーマ 第16回企画展

「使っているかも? 相模原生まれのエネルギー
～水車からメガソーラーまで～」

開催期間 令和元年10月8日より12月22日(日)まで
(休館日 毎週月曜日、毎月第3水曜日)

概要

今回の企画展は、地域で生まれ地域で消費されるエネルギーのむかしと今を公文書などで見ていきます。
むかしながらの水車を利用した動力、地域のための水力発電、そして清掃工場の熱供給や発電、太陽光発電を紹介します。



〔展示物の一例〕

使っているかも?
相模原市立公文書館第16回企画展
相模原生まれのエネルギー
～水車からメガソーラーまで～

〔開催期間〕 令和元年
10月8日(火) → 12月22日(日)
休館日: 月曜日(10月14日、11月4日を除く)、毎月第3水曜日、
10月15日(火)、11月5日(火)
〔開催時間〕 午前8時45分～午後5時00分
〔開催場所〕 相模原市立公文書館

第15回企画展の結果

第15回企画展 「『軍都計画』と相模原」その後
～陸軍機甲整備学校(キャンプ淵野辺)の変遷～

令和元年7月5日(金)から9月8日(日)まで
(55日間)開催しました。

第11回企画展「『軍都計画』と相模原」の第2弾として、終戦後の陸軍施設のうち、陸軍機甲整備学校(キャンプ淵野辺)の接收、返還、地元利用の歩みを追いました。

当館で所蔵する資料に、国立公文書館、神奈川県立公文書館、相模原市立博物館等の資料を加えた56点の資料を展示しました。



〔展示物の一例〕



インターネットでの歴史的公文書の検索

相模原市の歴史的公文書をホームページから検索する一般的な方法を紹介いたします。

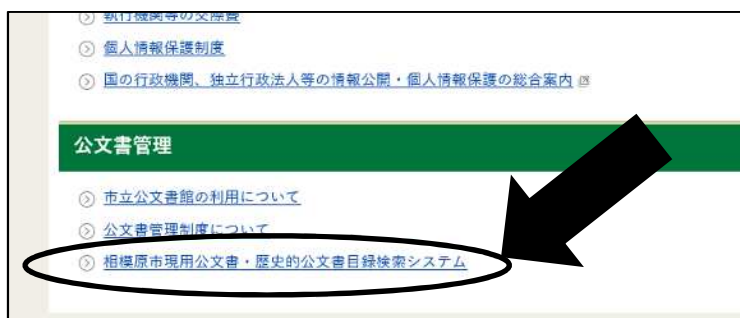
相模原市のホームページのトップ画面の『市政情報』をクリックします。



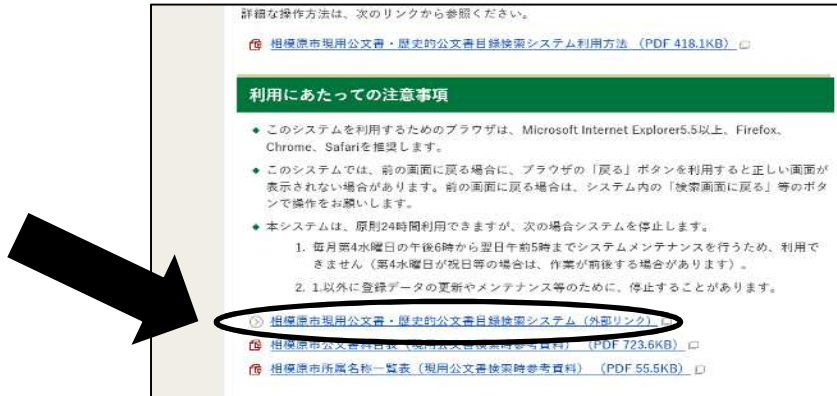
最下部にある緑色帯部の「統計・情報公開・監査」下の『審議会・情報公開・個人情報保護・公文書管理』をクリックします。



同様に最下部にある緑色帯部の「公文書管理」の『相模原市現用公文書・歴史的公文書目録検索システム』をクリックします。



上から4番目、緑色帯部の「利用にあたっての注意事項」の『相模原市現用公文書・歴史的公文書目録検索システム（外部リンク）』をクリックします。



相模原市現用公文書・歴史的公文書目録検索システムの上覧に現用公文書か歴史的公文書を選択する箇所がありますので、選択してください。（カブを合わせクック）
両方を選択することはできません。

説明

つぎに探したい公文書の情報を入力して検索をクックします。 文書が表示されます。ちなみに、キーワードの欄に入力するだけでもある程度の検索はできます。例として、キ - ワードの欄に「学事」と入力して検索をクックして下さい。各年度の「学事書類」や関連書類が表示されます。

現用文書と歴史的公文書の説明

公文書は作成された時に、その文書の目的などにより保存期間が定められています。（例：5年、10年、30年）

相模原市では、その保存期間内の文書を現用文書としています。

一方、保存期間が過ぎた公文書は原則廃棄処分になりますが、後世に残すべき重要な公文書と

して選別されたものは歴史的公文書として保存することになります。

人気ナンバー 1 の有償刊行物の紹介

公文書館では行政資料の保存・販売を行っています。

そこで、公文書館で人気ナンバー1の有償刊行物を紹介いたします。

相模原市史 現代図録編

平成 16 年 11 月 刊行

販売価格 1,500円

昭和39年から昭和47年にかけて編纂された「相模原市史」全7巻に続き市制50周年事業として刊行されました。

相模原市の変貌を写真・図版を中心に編集されており、いわゆる“見える化”した市史とも言えます。

また、軍都計画のその後や工場誘致、人口急増など相模原市特有のテーマごとに編集され見応えのある編集になっています。



TOPICS トピックス

近江八幡市議会視察

近江八幡市の市議会議員（総務常任委員会）の方々が令和元年10月30日に当公文書館を視察されました。

視察中は職員に熱心に質問され、公文書に対する関心の高さがうかがわれました。

また、当公文書館は近江八幡市の公文書の保管システムなどの情報を頂き大変参になりました。

